

令和7年度北上市市政座談会

～きたかみまちづくりトーク「WAになって話そう」～in 黒岩

報告書

日時 令和7年11月21日（金） 午後6時から7時

場所 黒岩地区交流センター

参加者 地域参加者：30名

市出席者：10名 ※他事務局等7名

グループトークテーマ

- ①：全世代に渡って安心して暮らすために、地域ぐるみで出来ることは何だと思えますか？
- ②：地域づくり活動や芸能伝承の担い手の育成を、どのように進めれば良いと思えますか？
- ③：黒岩の農業を守るために、皆で取り組みたいことは何ですか？
- ④：旧黒岩小学校グラウンドを活用できるとしたら、地域活性のためにどんなことをしたいですか？
- ⑤：黒岩の美しい景観を、どのように守っていければ良いと思えますか？

①グループ

- ・安全に暮らすために地域でできることとして、お互いに顔を合わせることで、地域活動を通じた交流会、地域包括支援センターなどとの連携が挙げられた。特に地域内のコミュニケーションの大切さは共通の意見として出された。
- ・地域内の移動手段や買い物について、バスやタクシー券を地域の実情に合わせて配布してもらいたい、バスの本数を増やしている地域があり、その取り組みが黒岩地区にも広まれば良い、という意見があった。また、移動販売車を利用して買い物をしているという話もあり、こういったサービスを活用したいが情報を知らない人もいるので、地域内で情報を共有したいという意見もあった。
- ・子どもたちに企画を任せて取り組んでもらった事例も話題になり、子どもの頃から地域に関わることで、黒岩に残ってもらいたいという思いも語られた。

②グループ

- ・各地区それぞれの神楽について、若い人が入らず、担い手が不足している、存続できるか悩んでいる、交通費や道具の整備費が負担になっている、などの話があった。
- ・「統一神楽」を構想しており、各地区で受け継がれてきた神楽が途絶えてしまわないよう、黒岩全体で同じ神楽を踊れるスタイルをつくりたいという意見があった。団体の特徴をどうしていくのか等の課題はあるが、具体的な話をまとめていきたいという思いも語られた。また、以前は「女性はダメ」という空気があったのを取り払って、やりやすい方向に規制を緩和していく流れができてきたという話もあった。
- ・子どもが県外に行っても、神楽のために帰って来たり、黒岩に戻ってきて神楽をやってくれるなどの話もあり、昔からの経験したことがつながって、一人でも若い人が増えてくれたら良いという話が出た。

③グループ

- ・農業を守るための取組として、生産者と消費者の間に循環をつくり、持続可能な農業につなげる、黒岩全体での農業の集約化、次の担い手が設備投資をしなくても良いような体制づくり、農地を借りたい人とかしたい人のマッチングなど、様々な意見が出された。また、後継者が不足している、耕作放棄地の獣害対策に悩んでいる、具体的な知見を持って、農業が成り立つ方法を示していく組織があれば心強いという話もあった。
- ・農業用水の悪臭問題があり、市に測定してもらったが、今後も安全を守るように各所への改善、指導をお願いしたいという話が出た。
- ・農業政策や設備への補助金について、小規模農家でも使えるようになれば良いという意見があった。市出席者からは何が必要かによって案内できる制度が変わってくるので、担当課に相談してほしいという話があった。

④グループ

- ・グラウンドの活用について、高齢者が集まれる場、盆踊りやバーベキューなど地域でのイベントに活用、弓道の遠的の練習場、複数のエリアに分けての活用など、多くのアイデアが出された。まずは子どもたちが自由に出入りできるような環境として使えば良いという意見もあった。
- ・実際に黒岩で活用する場合、自分たちでしっかりこういう活用をしたい、地区としてこうしていきたい、どうやって実現していくかを考えていく必要がある、という意見が出された。また、黒岩と環境が似ている地域でどんな取り組みをしているのか、じょうほうがあれば共有してほしい、という話があった。
- ・市出席者からは、地域で活用するとき、どう使いたいのか等を具体的に詰めてもらえれば、判断しやすくなるという話があった。

⑤グループ

- ・黒岩地区の守りたい景観について、北上川の流れを楽しめる景観、親水公園お滝さん、古道鷹巣街道の入口にある小滝さん、農村公園の桜、里山の日の出、北上川沿いの岩場等、様々な景観の話があった。
- ・お滝さんをはじめとして、各所の環境整備が高齢化により維持管理が難しくなっているという意見が多く出た。子どもたちや若い世代が少し手伝ってみようかなと思えるきっかけや入口が必要だと思う、無償ボランティアでは誰も来ない、環境整備のための補助金等の支援があれば、機械や人手の導入がしやすくなる、等の意見があった。
- ・参加者の意見を聞いて、魅力ある黒岩を地域で作っていきたいという感想があった。市出席者からは、小中学校を対象に行っている景観学習についても紹介され、子どもの頃から地域の好きな景観を見つけることで地域に愛着を持つことの大切さを共有した。

グループトークの様子



黒岩地区の皆さま

たくさんのご参加ありがとうございました